



ゆきかう またね
あふれる うふふ ∞

概要版

第6次高畠町総合計画

2019-2028

はじめに

第6次総合計画は、これからの高畠町をどのような町にしていくのか、その実現に向けて何を行っていくのかという10年間の方向性を示した「まちづくり」の最も基本となる計画です。

多くの町のみなさんと共に、町の現状や、ここで生活する人々の暮らしを見つめ直し、人口減少という大きな課題の中にあっても、今も未来も「しあわせ」を感じられるまちづくりの実現に向けて、町のみなさんと共に取り組むための「道しるべ」として策定しました。



「みんなでめざす町の将来像」

ゆきかうまたね∞ あふれるうふふ∞

笑顔でのんびり暮らせるまち、人生のお手本となるかっていい大人がたくさんいるまち、いつまでも住み続けられるまち・・・

10年後、そしてその先に続く高畠町の未来をみんなで想い描き、何のためにまちづくりをしているのかを突き詰めたとき、わたしたちは『一人ひとりが「しあわせ」になること』という結論にたどりつきました。

一人ひとりがめざすもの、大切に想うことはさまざまであっても、しあわせを感じている心のありようや、未来の高畠町の姿を、

ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」と表現しました。

ちょっとうれしい、楽しくて、思わず笑顔になる。
何気ない日々の暮らしで感じる言葉にならない、言葉にできない、しあわせな気持ちを「うふふ」という言葉で表しました。

「また会おうね」と、人と人が地域の中でつながる、
「また帰ってくるね」と、町を離れた若者が戻ってくる、
「また来るね」「また食べたいね」と外の人との交流が広がり、つながっていく。
美しい自然も、人も、地域の経済も「またね」とめぐり、共に生きている。
「またね」には、そんな想いを込めています。

たくさんの「またね」がゆきかい、活気に満ち、しあわせを実感している人であふれている。
そんな高畠町をみんなで一緒につくっていきましょう！

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 具体的計画 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ライフステージ 1 「生まれてくる」ひとのために

「生まれてくる」ひとのために

めざす町の姿①



めざす町の姿②

めざす町の姿3

学びの場が充実して、
魅力ある“高畠人”が育っている

町には多くの自然や歴史遺産、専門的な知識や技術を持った方々など素晴らしい資源・人材がたくさんあります。大人も子どもも地域の良さを学び、お互いが成長し、高畠町で暮らすことへの誇りや愛着を持つことにより、高畠町を大切に思う気持ちが広がります。

これまで培ってきた高畠町の伝統や文化を大事にしながら、学ぶことの楽しさを感じられる取り組みを進め、地域ぐるみで魅力ある“高畠人”を育てる町をめざします。

基本目標6

子どもたちの中にある力を
伸ばす教育を行う

人生を自ら切り開き豊かにする力と、思いやりの心や生まれ育った町を愛する心を育てます。また、そのための安心して学べる教育環境を整えます。

基本目標7

学ぶ気持ちを大切にし、
地域の教育力をアップさせる

地域のつながりによる学びの場を広げ、誰もが学びたくなる環境をつくります。また、学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくります。

基本目標8

「ちがいを認めることが
できる人を増やす

悩み事がある人の心に寄り添った相談・支援を行い、一人ひとりを大切にし、お互いを尊重する心を育てます。

めざす町の姿4

技の継承と新たな取り組みで、
産業に活力が生まれている

これからは、人口の急激な減少により担い手不足が心配されています。このような課題を克服するためには、各分野において知恵や技術を継承すると同時に、新しいアイデアで「カッコいい」「もうかる」産業を実現させていく必要があります。

地域の産業の連携により、高畠町らしい魅力ある「もの」や「サービス」が生まれ、活力あふれる町をめざします。

基本目標9

若者があこがれる
「カッコいい」産業を増やす

「カッコいい」「もうかる」農業を実現するための支援や、商工業の維持・発展のための支援を行います。

基本目標10

資源や人のつながりで、
地域産業を盛り上げる

多様な連携による「もの・こと」づくりや、町内資源のフル活用による産業発展を支援します。

めざす町の姿5

夢や希望が実現しライフスタイルに
合った働き方ができている

高畠に戻る人、住みたい人を増やすためには、経済的な安定はもちろん、一人ひとりの生き方や働き方に合った、魅力的な仕事が必要です。

様々な仕事のかたちや選択肢があり、高畠町で暮らすことに希望が持てる町をめざします。

基本目標11

一人ひとりの生活にあった
多様な働き方の選択肢を増やす

ワーク・ライフ・バランスを推進した多様な働き方づくりや、職業体験などを通して、やりがいのある仕事との出会いを支援します。

基本目標12

新しいビジネスを
創出しやすい環境を整える

創業・起業に役立つ情報を提供して、町内で創業・起業したい人を応援します。

めざす町の姿6

安心して生活できる環境があり、
心豊かに暮らしている

高畠町の魅力を聞くと多くの人が豊かな自然環境と答えています。反面、雪などの自然の厳しさは多くの皆さんの悩みとなっています。

今ある自然環境を守り、ゆったりとした生活を楽しみながらも、暮らしやすさや安全安心につながる環境が整備された町をめざします。

基本目標 13 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす

自然の恵みを生かした暮らしを広げ、自然とともにのんびり・ゆったり暮らしたい人を応援します。

基本目標 14 安心して快適に生活できる環境を整える

安心な暮らしを支える公共インフラを整備します。ずっと住み続けたい住環境作りや、冬期間の安全な生活環境づくりを行います。

基本目標 15 みんなで地域に気を配り「もしもの時に助け合えるしくみを広げる

地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます。また地域での犯罪や事故を未然に防ぎます。

めざす町の姿7

一人ひとりが健やかで、
ゆるやかに支え合っている

日頃から健康で、日々の生活を楽しみ、病気になっても良くなる希望が持てる。暮らしの中で困ったことがあっても、誰かがさりげなく支えてくれる。こんな生活があたりまえにあれば、安心して暮らすことができます。

保健、医療、福祉の分野が密接に連携し、町民一人ひとりがゆるやかにつながって、心身共に健やかに暮らすことのできる町をめざします。

基本目標 16 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす

地域ぐるみでの健康に対する意識づくりや、安心して利用できる医療サービスを提供することで、健康づくりを推進していきます。

また、講演会などを通して、こころの健康づくりを進めます。

基本目標 17 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる

持続可能な地域のありかたを考える機会をつくります。

また、得意なことを生かしたボランティア活動や、気軽に立ち寄れる居場所づくりで、支え合いの仕組みを支援していきます。

めざす町の姿8

年を重ねても誰もが自分らしく
いきいきと暮らしている

住み慣れた地域で自分らしく、安心して、元気にいきいきと暮らすことは多くの人の願いです。豊かに笑顔で暮らし続けられる環境を実現するためには、一人ひとりを取り巻く地域の環境も含めて考えていく必要があります。

年を重ねても頼りにされ、住み慣れた地域で顔なじみの人たちに囲まれ、暮らし続けられる町をめざします。

基本目標 18 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす

豊富な経験や技能を活用した生きがいづくりと社会参加を進めます。

また、人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します。

基本目標 19 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える

医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくるため、高齢者の日常生活を支え、介護者の負担を減らします。

めざす町の姿9

みんなで未来に向けた
まちづくりを進めている

高島町が将来にわたって住み続けたい、住み続けられる町であるためには、今ここにいる私たちが、この素晴らしい環境を次の世代のために価値ある資源として受け継いでいくことが大切です。

また、様々な課題を解決していくためには、高島町に関わる人たちが協力して、新たなことにチャレンジしていくことも必要です。

多くの人が自分のこととして参画し、持続可能なまちづくりに挑戦し続ける町をめざします。



基本目標 20 地域の自然や生態系を守る
活動を広げる

豊かな自然を守り、次世代に継承するため、自然を大切にすることを育みます。

基本目標 21 持続可能な環境づくりに
取り組む人を増やす

環境にやさしいライフスタイルを定着させ、効果的・効率的なエネルギー対策や、循環型社会の形成を進めます。

基本目標 22 歴史、文化遺産を守り活用し、
伝承する人を増やす

歴史や文化遺産を正しく理解し、大切に守りながらも活用し、潤いのある暮らしをつくります。

基本目標 23 夢や志を持ち
活躍する若者を増やす

若者がまちや地域を知るための機会を提供し、夢や志を持つ若者を応援します

基本目標 24 協働でまちづくりを進めるた
めの環境を整える

町民が参加・参画しやすい協働のしくみをつくり、将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます。

めざす町の姿10

高島町の魅力が伝わり、訪れる人、
戻る人、移り住む人が増えている

人口減少は、高島町にとっても大きな課題です。多くの人々が高島町に足を運び、再び訪れ、住みたくくなるような町になるためには、町の魅力を町内外に発信することが必要です。

この地域で生まれ育った若者が地元へ根付く、ふるさとに戻りたいと思う、そして町外から高島町を選んで訪れる人が増える町をめざします。



基本目標 25 町内外に町の魅力を
効果的に発信する

高島町といったこれという町の魅力を再発見し、戦略的なプロモーションを行います。

基本目標 26 高島町ならではの発想による観光
を生み出し、訪れる人を増やす

高島町ならではの観光情報の発信を強化し、観光者の滞在時間を増やす新たな観光プログラムをつくります。

基本目標 27 交流力を高め、高島町を
応援する人や地域を増やす

さまざまな場所から人が訪れ、高島町を体感できる機会を増やし、高島町と関わりを持つ団体・企業・地域を増やします。また、町外にいても高島町を応援してもらえるしくみをつくります。

基本目標 28 移住・定住しやすい環境を整え、
戻ってくる人、移り住む人を増やす

高島町に住みたくなるきっかけをつくり、高島町に移り住む人を応援し、移住した人たちが長く住み続けられるようサポートします。

計画の実現に向けて

「またね∞」「うふふ∞」プロジェクト

めざす町の将来像を実現するため、計画全体にまたがる特に重要な取り組みを「またね∞」「うふふ∞」プロジェクトとして位置づけ、特に力を入れて推進していきます。

プロジェクトの推進にあたっては、事業を担当する部署だけが対応するのではなく、10のめざす町の姿、28のまちづくりの基本目標を横断的にとらえ、町全体で実現をめざします。

プロジェクトのテーマは年度ごとに設定し、定期的に進捗状況を確認するとともに、プロジェクトチームを構成して取り組みを進めます。

(1) 「またね∞」がゆきかうプロジェクト

高島町を多くの人に知ってもらい、移住・定住人口、交流人口、関係人口、応援人口を増やす取り組みを「またね∞」がゆきかうプロジェクトとして設定します。

【テーマ】 交流、高島の魅力発信、プロモーションなど

(2) 「うふふ∞」があふれるプロジェクト

高島町に住む町民の幸せをひろげる取り組みを「うふふ∞」があふれるプロジェクトとして設定します。

【テーマ】 協働のまちづくり、食育、ゆるやかな地域コミュニティづくり、住民の生きがいづくりなど

(3) 「またね∞」も「うふふ∞」も無限大∞プロジェクト

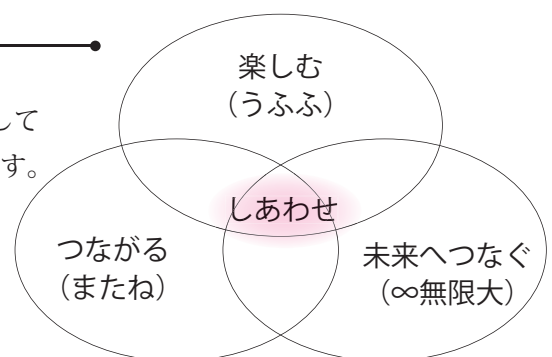
町民も町外の人もみんなでつながって、未来に向かって町の活力を増やす取り組みを「またね」も「うふふ」も無限大∞プロジェクトとして設定します。

【テーマ】 若者応援、空き家活用、人口減少対策など

みんなで大切にする3つの視点

第6次総合計画では、次の3つをまちづくりの大切な共通視点として位置づけ、持続可能なまちづくりの実現に向けて取り組みを進めます。

- (1) 「うふふ」を生みだす視点（楽しむ）
- (2) 「またね」を活かす視点（つながる）
- (3) 「∞無限大」につづく視点（未来へつなぐ）



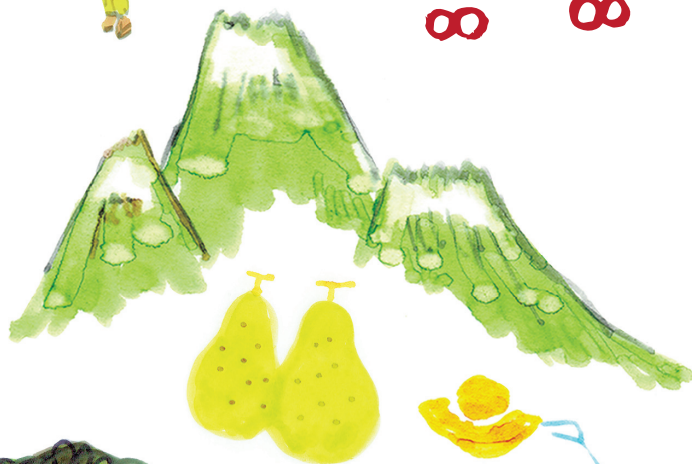
楽しむ × つながる × つなぐ



持続可能な「しあわせ」な未来



ゆきかう またね
あふれる うふふ ∞ ∞



この概要版は取り外して小冊子としてお使いいただけます。
また、概要版の表紙と裏表紙は間違い探しになっています。
全部で4か所探してみてください！